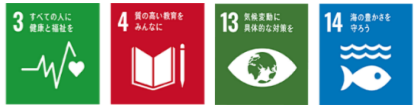




2022年 愛知県ボート協会活動方針

➤ **加盟団体一丸となり、愛知県内ボート競技普及・強化に全力で取り組む**

➤ **24年パリ五輪、26年アジア大会に向けた強化の布石を打つ**



【会長の想い】

協会的一般社団法人化移行後の使命として、日本及び**愛知県内ボート競技の「強化・普及」**に全力で取り組む。

また、これまでの協会活動の強みである**ボランティア精神を軸とした加盟団体一丸となった協会運営**の良さを維持しつつ、法人化メリットを活かした協会運営を実施する。

■ 強化

・国際大会(24パリ五輪、26アジア大会)でのメダル獲得に向け、日本ボート協会と連携し、加盟団体強化を進め、数多くの日本代表選手を輩出。特に26アジア大会は愛知県開催のため、愛知県スポーツ局・アジア大会組織委員会と連携しつつ、中期的な強化に取り組む。

・国内大会(全日本クラス、国民体育大会)では加盟団体強化を進め、全日本クラスの大会優勝クルー数、国民体育大会順位UPに取り組む。(愛知選抜の在り方や加盟団体への支援策を検討)

■ 普及

・簡単に競技参加でき、見て楽しい、ビーチでのメリットを活かし新種目であるコースタル大会を積極的に開催し、競技人口UPを推進。ラグーナビーチ(蒲郡市)を中心に組織化を目指し活動を拡大・強化。

・中日本レガッタの継続的な開催とコロナ感染対策を含む運営の変更。活性化策として26アジア大会の前哨戦として22 or 23年に「アジアマスターズレガッタ」を誘致・開催。国際交流を目的に愛知県やマスコミを巻き込んだ大会運営を検討。

■ 法人体制の強化・改善

・新組織体制(女性理事率のUP)と社員総会、理事会、業務執行会議の運営の在り方、中期方針を達成に向けた各委員会活動計画の着実な実施。

・財務体質の強化、大会運営費用の見直し、協賛金、スポンサーシップ、助成金、加盟団体登録料新設、協会資産の貸し出しなどの収益事業の拡大。

・学連、高体連、各地域ボート協会(名古屋、豊田)、地域クラブとの役割分担と連携強化

No.	取り組み項目 (事業)	目標・KPI * Key Performance Index	関係部署	推進部署
1. 競技力向上・強化				
1-1	<ジュニア選手の育成・強化> ・国体出場及び入賞に向けた強化支援 ・全国総体・選抜大会好成績に向けた強化支援	国体入賞 全国大会入賞	加盟団体 加盟団体	強化委員会 強化委員会
1-2	<シニア選手の育成・強化支援> ・国際大会出場選手輩出に向けた支援 (令和4年度愛知県競技力向上対策事業参画) ・全日本クラス大会・国体入賞順位向上に向けた支援	代表選手輩出 決勝進出・入賞	加盟団体 加盟団体	強化・国際委員 強化委員会
1-3	<2026アジア大会に向けた愛知ジュニアアカデミー・キッズジュニア育成> ・22年度ジュニアキッズ選考対象者体験育成指導	ボート種目選択者獲得 ('21年度実績以上)	愛知県スポーツ局	強化・普及委員・ 総務委員
2. 普及・認知度向上				
2-1	<ジュニア選手への普及活動強化> ・地域クラブと愛ボの連携を強化し、ジュニア選手の受入れ態勢整備 ・愛知池ボート体験会の継続実施、定着化 ・愛ボホームページ用普及コンテンツの作成・充実	期限：3/31 期限：3/31 随時	地域クラブ・加盟団体 各委員会・加盟団体 各委員会	普及・強化・総務委員会 普及・強化委員会 普及・広報委員会
2-2	<中部ボート連盟・県内ボート協会との連携強化> ・中部、東海ブロック内審判交流による連携強化 ・蒲郡ボート協会(コースタル種目主体)の設立 ・eローイング(オンラインエルゴ大会)の規模拡大(学連、高体連と連携し、大学、高校大会企画)	東海各県開催レース参加 22年度内設立 運営を学連・高体連に移管	東海ブロック各県審判長 蒲郡市教育委員会 中部学連・高体連	審判委員会 普及・総務委員会 普及・総務委員会
2-3	<コースタルボート普及活動> ・第3回蒲郡ビーチスプリント大会企画・開催 ・蒲郡地域に、コースタル艇常設施設を確保 ・蒲郡市内の学校にコースタルローイングクラブ設立	出漕者数80名以上 地元業者と契約(~3/31) 1クラブ以上設立	蒲郡市 地元業者、蒲郡市 海陽学園・三谷水産高校	国際委員会 総務・国際委員会 普及・国際委員会
3. 財務体質強化・その他				
3-1	<収益事業の取り組み> ・各種大会時の収益活動企画・運営(蒲郡BS、アジアマスターズ、eローイング等) ・西医体の運営受託 ・艇整備及び譲渡艇4+の4x+化による希望者への確実な配艇による収益向上	収益20万円以上(2大会) 収益20万円以上 配艇率100%(対借艇要望)	協賛各社、団体 西医体実行委員会 総務(借艇要望把握)	総務・全委員会 輸送委員会
3-2	<その他> ・日ボ研修会への積極参加による審判員技能向上 ・上級審判員資格取得者の増員 ・県内審判員資格保有者の増員(各加盟団体等への働きかけ実施) ・各種国際大会企画(22 or 23年アジアマスターズ開催、26年アジア大会準備) ・愛教大艇庫活用プロジェクト推進 ・大会記録システムの改善	研修会2回/年参加 B級審判員試験1名合格 C級審判員試験の実施 アジアマスターズ開催実現 地域クラブ立ち上げ GEMSシステムを単独で運用	日本ボート協会 日本ボート協会 日本ボート協会 日本ボート協会・愛知県 愛教大・学連他 ケイティディ社	審判委員会 審判委員会 審判委員会 総務・国際委員会 総務・普及・強化・学連 総務・全委員会